

向陽中だより



本校生徒会キャラクター「ひま SUN」

第4号

令和2年7月31日

杉並区立向陽中学校

<教育目標> ◎ よく考える人 ○ 思いやりのある人 ○ たくましい人

1学期を終えて

校長 中谷 愛

新型コロナウイルスの影響により、学校生活が6月から始まるというこれまでに経験したことのないスタートでした。そのような中で、1学期がまもなく終わろうとしています。今、振り返ってみると、本学期は、各教室で、生徒の学習等への集中した取り組みと、その取り組みを支える教員の熱心な姿勢から始まり、その日々を積み重ねて過ごした学期でありました。「教育は、(一部省略) 一日一日をどう積み重ねてゆくかによってちがって来る」とは、本校2代校長の小沢政江先生の言葉であり、本学期、新しい学校生活様式等にも慣れながら教育活動を進めていくために、生徒も教職員も試行を重ねてきたことは、まさにこの言葉を意識し、具現化している日々であったと言えます。

持続可能な「新しい日常」を確立していくため、新しい発想の試みを工夫して取り入れながら、これからも教育活動を展開してまいります。

1学期本校の教育活動に御理解・御協力を賜りましたことに感謝申し上げますとともに、引き続きどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

<「今の自分、15の自分」 ～道徳授業の一場面～>

1日(水)5校時に1年生で行われた道徳では、内容項目「向上心・個性の伸長」をテーマに、「2年後の自分はどのような人になりたいか」を考える授業でした。本授業は、本校の校内研修として位置づけ、講師として、今年度東京都中学校道徳教育研究会の研究部長を務めていらっしゃる多摩市立聖ヶ丘中学校 麻生 隆久校長先生をお迎えし、授業後の協議会では、道徳の授業の進め方について御指導をいただきました。

麻生校長先生から、たいへん価値があるとお褒めの言葉をいただいた授業場面を紹介します。

<授業の前半で、一人一人が自分のいいところについて考えている場面(一部省略)>

先生：それでは、皆さんから自分のいいところについて発表してもらいたと思います。

Aさん、あなたのいいところはどのようなところですか。

Aさん：・・・

Bさん：(となりの席からAさんの方を向いて)Aさん、いいところ、たくさんあるじゃん。

先生と他の生徒：おお・・・

先生：Bさん、Aさんのいいところ教えてあげて。

その後、BさんはAさんのいいところを発表しました。Bさんの発言により、それまで学級に流れていた緊張感がとけて、Aさんも学級全体もとても温かい雰囲気になりました。